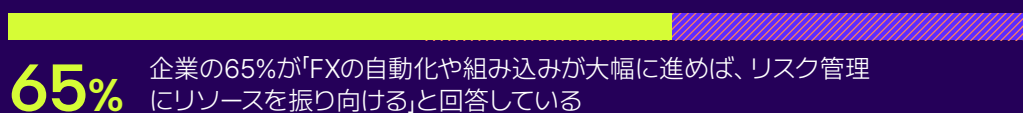
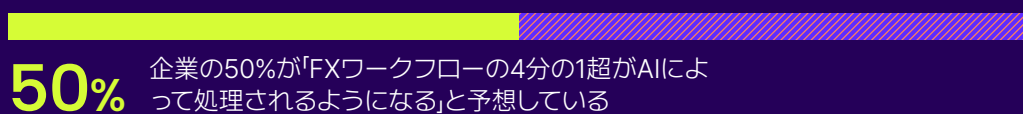
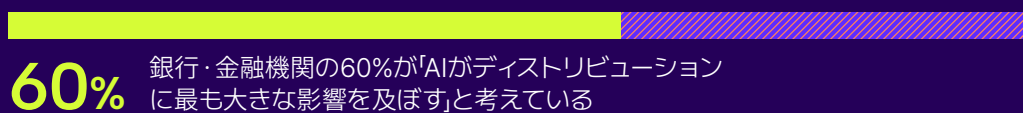
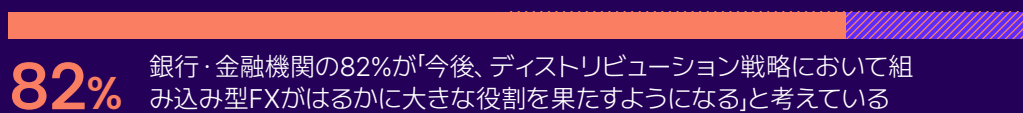
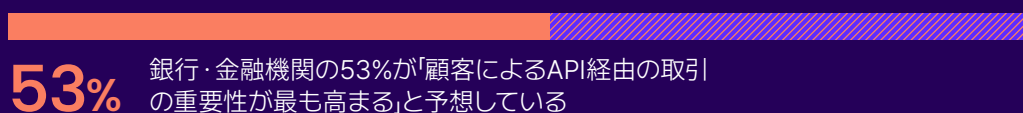
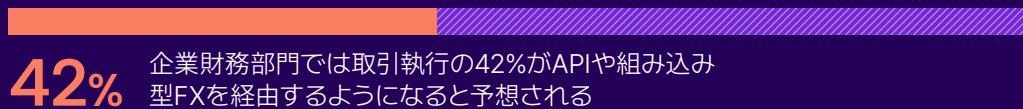


プログラマティックな転換： API、組み込み型FX、AIで一変するFX ディストリビューション

インテグラルが実施した調査（世界の企業財務部門および金融機関、計143組織を対象とするアンケートデータを含む）では、業界全体がAIや高度な自動化の活用を目指す中、組み込み型FXやAPIを介した取引執行に向けて大きな転換が進んでいることが明らかになりました。

今後5年間の予想：



組み込み型FXとAPIを介した取引執行の台頭

取引執行がスタンドアロンの画面上で実行される形から中核的なワークフローに組み込まれる形へと移行する中で、組み込み型FX（ERPやTMSソリューションなどの自社システムに直接統合された取引執行）の割合は現在の12%から26%へと2倍以上になると企業財務担当者は予想しています。また、ユーザー主導のAPI経由の取引執行も並行して増加し、財務部門の取引量に占める割合は6%から16%に高まると予想されています。

APIの成熟度ギャップ

セルサイドとバイサイドの双方が、今後自動化が進むとの見方で一致しているものの、技術的な対応状況については違いがあります。企業財務担当者の83%が「完全自動化には大きな障壁がある」と回答しています。大企業では、その障壁は内部要因であり、56%がレガシーシステムや細分化されたIT環境を挙げています。一方、中堅企業や成長企業では外部要因が障壁となっており、43%が、銀行のAPIインフラが複雑すぎる、あるいは標準化されていないと指摘しています。

AI：高い目標と現実とのギャップ

AIを活用したワークフローを目指す意向ははっきりしているものの、現時点での導入は遅れています。企業財務部門では、モニタリングや構想段階にとどまっており、実際のパイロットを実行している企業はわずか8%です。特に資本がリスクにさらされる意思決定については、財務担当者は「ヒューマン・イン・ザ・ループ」モデルを強く支持しています。

戦略的示唆

企業の3分の2近くが「高度な自動化と組み込み型FX取引執行によって、リスク管理戦略を重視できるようになる」と回答しています。財務担当者がFX管理を基幹システムに組み込むことを求める中で、銀行が重要な役割を果たす可能性があります。こうした変化に伴い、財務部門では取引方法だけでなく、時間の使い方まで一変します。競争上の差別化が、市場をリードする企業と、レガシーインフラの維持に甘んじている企業に分かれ目になるでしょう。

お問い合わせ

本調査の内容にご関心をお持ちいただけましたら、弊社インテグラルがどのようにお役に立てるかについて、お気軽にご相談ください。

hello@integral.com までメールにてお問い合わせください。

お問い合わせはこちら

